

宮崎県における堆肥の広域流通の取組事例

九州農政局宮崎県拠点

- 平成24年より、宮崎県と、宮崎県畜産協会、(株)サンクラフトが連携した取組として、畜産農家の家畜排せつ物のうち、大規模農家分は県外へ、中小規模農家分を地域で良質堆肥として循環するシステムを構築。
- 平成26年には、大規模農家を中心とした、堆肥の生産から流通・販売まで一体的に取り組む「ひむ華堆肥生産流通組合」を設立。
- 令和4年度から、新たに北陸地方への鉄道輸送による堆肥の流通を開始。

現状と課題

- 堆肥の販売先の確保が難しく、堆肥舎内に在庫として滞留
- 宮崎県は堆肥が供給過多であり、無償譲渡が多い
- 家畜排せつ物の適正処理に向けた技術指導が必要
- 宮崎県内向けの堆肥販売先の棲み分けと広域流通の促進が急務
- 畜産農家が規模拡大するためには、家畜排せつ物の処理が最大の課題

宮崎県・宮崎県畜産協会：肥料流通全体の調整

ひむ華堆肥生産流通組合

事務局：(株)サンクラフト（宮崎県都城市）

大規模畜産農家の堆肥は、袋詰めやフレコンバックにより中・長距離へ流通を拡大

大規模畜産農家

（肉用牛・乳用牛・養鶏・養豚）

- ・完熟堆肥製造
- ・混合堆肥等の製造
- ・堆肥製造の配送
- ・堆肥の相互融通



輸送会社・自社輸送

技術支援・販路開拓

(株)都夢創
（福岡県福岡市）

(株)サンクラフト
（宮崎県都城市）

- ・商品開発（技術協力）
- ・堆肥の販路開拓支援

受発注
代金決済

中小規模畜産農家

流通先

北陸地方への鉄道輸送
による流通を
令和4年9月開始

ホームセンター
（県内・九州内）

農業外利用
（街路樹・公園）

沖縄本島・離島

中国・韓国

地元や近隣を
中心に流通